

第10回 観光戦略実行推進タスクフォース 議事要旨

1. 日時：平成29年4月24（月）17:00～18:00

2. 場所：官邸2階小ホール

3. 出席者：

（政府側）

菅内閣官房長官、石井国土交通大臣、杉田内閣官房副長官、古谷内閣官房副長官補、田村観光庁長官、松永内閣官房内閣審議官、蝦名内閣官房内閣審議官、下間内閣官房働き方改革実現推進室次長、有松文部科学省生涯学習政策局長、高橋スポーツ庁次長、宮田文化庁長官、橋本厚生労働省大臣官房審議官、竹内経済産業省商務情報政策局審議官、藤田国土交通省総合政策局長

（有識者・敬称略）

デービッド・アトキンソン（株式会社小西美術工藝社代表取締役社長）、太田康裕（セガサミーゴルフエンタテインメント株式会社代表取締役社長、ザ・ノースカントリーゴルフクラブ総支配人）、山田拓（株式会社美ら地球代表取締役）、菱沼妙子（松竹株式会社経営企画部地域振興プロジェクトプロデューサー）、宮崎裕二（ぴあ株式会社インバウンド事業開発室室長）、米原亮三（NPO 日本文化体験交流塾理事長、True Japan Tour 株式会社代表取締役社長）

4. 議題：観光ビジョンに掲げた施策のより一層の推進に向けた有識者からのヒアリング

5. 議事概要

○「新しい観光資源の開拓」をテーマに、観光ビジョンに掲げた施策のより一層の推進に向け、アトキンソン氏より新しい観光資源の開拓について（資料2）、太田氏よりゴルフとスノーアクティビティ運営によるツーリズム効果について（資料3）、山田氏よりイナカを求める外国人向け1ストップソリューションについて（資料4）、菱沼氏よりインバウンド市場を視野に入れた松竹の取組について（資料非公表）、宮崎氏よりエンタテインメント業界の課題について（資料5）、米原氏より日本文化体験について（資料6）、それぞれ資料に基づきプレゼン。

※星野佳路氏（星野リゾート代表）はご都合によりご欠席のため、資料のみ配付。

○意見交換の後、石井国土交通大臣、菅内閣官房長官よりご発言。主な内容は以下のとおり。

【石井国土交通大臣】

- ・有識者の皆様、本日はお忙しい中、お越しいただき感謝申し上げます。
- ・本日は、地域の自然や人々の暮らしを生かしたアクティビティ、歌舞伎や日本舞踊等の伝統芸能・文化、夜間にも楽しめる音楽やスポーツ等のエンタテインメントなど、多種多様な観光資源の開拓・活用をはじめ、観光需要の平準化に至るまで、多

岐にわたり示唆に富むご意見をいただいた。

- ・眠っている新しい観光資源を外国人を含めて開かれたものとする事は、需要の通年化、付加価値の向上を通じて、観光産業の生産性の向上や地域の観光・経済の活性化にもつながる重要な取組である。
- ・各省においては、観光ビジョンに掲げられた取組を深め、また、加速化するするとともに、有識者からいただいたご意見も踏まえ、新たな施策にも積極的に取り組んでいただきたい。

【菅内閣官房長官】

- ・地域の自然とその中で営まれる生活、文化こそが有力な観光資源であり、それらを活用して訪日観光客を呼び込むことにより地方創生を実現する。さらに、スポーツや歌舞伎などの伝統芸能の魅力を外国人に分かりやすく、体験できるようにすることが観光資源を開拓する鍵である。このような意識を関係者に広く共有する必要があることを再認識した。
- ・2020年4,000万人の目標の実現には、自然や文化はもちろんですが、スポーツ、ナイトエンタテインメントのような新しい観光資源をしっかりと開花させて、わが国の魅力を高めていかなければならないことがそれぞれの省庁も理解できた。
- ・今後、有識者のご意見を形にすることができるよう、取り組んでまいりたい。今後ともぜひご助言を賜りたい。

○蝦名内閣官房内閣審議官より閉会

- ・本日の第10回会合はここで閉会する。なお、次回日程は追って連絡する。

以 上